



思考力 考える

知恵を
使う

2学期の重点はココ!

ことができる15歳に

昨年度からウチの学校は、夏休みや冬休みに一律の宿題を出すことをやめました。これを聞いた去年の6年生、つまり、今の1年生の中に「中学校に行ったら宿題が無くて嬉しい!」と喜んでいる人がいたことを耳にしました。間違っほしくないのは、宿題は無くても勉強は絶対にしなければなりません。苦手分野や課題は人によって違います。だからみんな同じ宿題に取り組むのではなく、自分に必要な勉強をすることが大切なのです。

なぜ勉強が必要なのか?

それは、ヒトが人間になるためです。

人間として社会生活を送るには、勉強をしてたくさんのことを学ぶ必要があります。

中にはこんな人がいます。

「自分はスポーツが得意だからプロスポーツ選手になる。だから勉強をする必要はない」という人。確かに勉強せずとも、その種目だけをやり続けていたら上手になってプロになれるかもしれません。きっと、そうしてプロになった選手もいることでしょう。

しかし、勉強せずにその種目だけに没頭し、プロになったはいいいけれども、善悪の判断に乏しく、暴力事件や薬物事件、わいせつ事件などを起こし、ダメになった選手を私は知っています。きっとスポーツばかりに取り組み、しかるべき時に必要な勉強をしてこなかったため、社会生活に必要な知識や技能を活用する力が付いていなかったのでしょう。善悪の正しい判断、チームメイトやファンを含めた他者意識への理解など、これらは全て、多種多様な勉強をすることで身に付いていくことなのです。ヒトは勉強することで人間になるとは、そういう意味です。

皆さんは、すでに学級で明日からの学習計画を立てていることだと思います。各教科の復習はもちろん、苦手教科を克服したり、将来に役立つ知識や技能を身に付けたりなど、自分にとって必要な勉強にしっかりと取り組むことを期待しています。

コレは、1学期の終業式に全校生徒にお話しした内容です。個に応じた勉強の必要性を伝え、夏休みを迎えました。

そして、8月22日、2学期がスタートしました。

2学期は、最上位目標の3つのキーワードである「主体性、思考力、協調性」のうち、『思考力』を2学期の重点キーワードとすることにしました。

1学期の学校評価結果から、主体性と協調性についてはある程度の成果が見られたことが分かりました。昨年度の学校目標を継承していることがその要因であると考えます。しかし、「思考力」つまり、「考える力」の向上には顕著な成果が確認できなかったため、これを2学期の重点とし、「知恵を使う」ということを指標としました。

考える
知恵を使う

「なぜだろう?」(原因分析力)

「どう思う?」(自己表現力)

「どうしたらいい?」(問題解決力)

「要するに?」(抽象化思考力)

「例えばどういうこと?」(具体化思考力)

「楽しむには?」(積極的思考力)

「何のため?」(目的意識力)

「そもそもどういうこと?」(原点回帰力)

「もし~ならどう?」(仮説構築力)

「本当だろうか?」(問題意識力)

「同じ勉強をしていて、なぜ差がつくのか?」(著 石田勝紀)より

石田氏によると…「成果を上げる人は思考を働かせて授業以外でも学んでいる」「思考力は遺伝ではないので後天的な伸長が可能」「同じ勉強をしていても差が出るのは思考力の差が作用している」「10のキーワード(上記)で思考力を高めることができる」という内容でした。

これらは一つの考え方なので、全てを学校で取り入れるわけではありません。とはいえ、「思考力=考える力」は学習指導要領(思考力、判断力、表現力)にも位置づけられている大切な観点です。2学期は、授業はもとより学級・生徒会の活動や行事において、考え、知恵を使い、思考力を働かせる場面を意図的に設定し、学びの充実を図ります。

どの学年の子どもたちも卒業する頃には、自身の考えを確かなものとして、学びに向かい、他者との良好な人間関係を築くことができるような、義務教育の修了にふさわしい15歳に成長することを目指します。

学校がし～んとなった一日

全学年 学力テスト

教室からの仲間と相談する声、先生の説明、笑い声や驚く声、空き教室や廊下でのグループ学習の声、体育館の歓声や音楽室からの歌声など…、いつもは日中でも校内は割と賑やかなものです。しかし、8月28日は校内がし～んと静まり返り、子どもたちが黙々と机に向かって一日でした。この日は、全学年の学力テストを実施しました。

本校は、中間・期末のテスト、いわゆる定期テストをやめました。以前まで実施していた本校での定期テストは、学習成績への反映が主な目的でした。学習評価は「思考力、判断力、表現力」が観点の一つになっているため、日常の授業での活動の様子を重要視しています。そのため、ペーパーテストの結果を直接成績に反映させることはなく、一部の資料として活用しています。また、定期テスト1～2週間前のテスト勉強の成果よりも、授業で学んだ單元ごとの成果を短いスパンで確かめる方が、より確実な評価・評定になると考え、定期テストを廃止しました。

ペーパーでの確認が難しい能力、いわゆる非認知能力が重要視されるようになったとはいえ、子どもたちの人生において、高校進学を含め、ペーパーテストの結果が求められる機会は避けて通れないものと考えます。

そのため、学力テストは廃止せずに、「テストを受ける勉強」という意味で、この学力テストの時間を大切にしています。ちなみに本校は「北海道教育文化協会」発行のテストを採用しており、今年度から町が費用を負担してくださっています。

単元テストの目的は、授業で学んだ成果を確かめること。

学力テストは「目指せ高得点」として計画的にテスト勉強をすることを目的としています。

3日間の放課後学習会にて、仲間同士で、一人で黙々と、先生に教えてもらいながら、さらには帰宅後の計画に基づいた取組など、まさしく個に応じたテスト勉強の成果が表れることを期待しています。

寄贈「机・椅子40組」

一般財団法人「ハスコム財団」理事長 山下 潔 様

ハスコム様より地域貢献事業の一環として、40組の学習用の机と椅子を寄贈いただきました。来年度、町予算で購入予定だったのですが、先行して頂けることになりました。早速、夏休み中に2年生教室の机と椅子を入れ替えたので、新品で2学期の授業をスタートさせることができました。ありがとうございました。



7月30日から知内町で開催された全道大会にて見事準優勝を果たし、北海道代表として佐賀県で行われた全国大会に出場しました。1回戦目で惜しくも敗れたものの、本大会準優勝を果たした沖縄県代表チームに互角のゲームを行ってきたようです。また、間もなく広島県で行われたクラブチームの全国大会ではCクラス優勝という素晴らしい結果を残しました。

学校部活動から移行し、日頃から指導して下さっている監督さんをはじめチームスタッフの皆様には改めて感謝申し上げ、この度の快挙に心より敬意を表します。大変お疲れ様でした！

軟式野球クラブチーム
「羽幌フェニックスミドル」

快挙！ 中体連全国大会出場

「少年の主張」は全道で優秀賞！

「違うっていけないこと？」 3年 ○○○○らさん

7月24日に留萌市で行われた管内大会で最優秀賞を獲得し、8月29日、留萌代表として札幌市での全道大会に出場しました。

結果は、なんと**優秀賞！** 全道各地からの代表16名のうち最優秀賞1名、優秀賞3名が選ばれ、見事に入賞しました！



陸上競技&柔道も全道大会へ

陸上部、柔道部も中体連全道大会に出場しました。上位進出は果たせなかったものの、日頃の練習の成果を発揮し、管内代表として全道の強者相手にチャレンジしてきました。こちらも地域の方からの指導を賜っておりますことに感謝いたします。



校内での伝達表彰より